



林家 木久扇・木久蔵の

だまされちゃ
いやーん!

林家
木久扇
林家
木久蔵

高齢者を狙う 詐欺・悪質商法

企画意図

高齢者を狙った詐欺・悪質商法は巧妙化の一途をたどっています。被害防止のためには、高齢者自身の対策とともに、家族や身近な人々の見守りや日頃からの交流が欠かせません。林家木久扇・木久蔵の親子師匠が演じる落語を楽しみながら、近年多発する手口の再現ドラマをもとに、被害に遭わないための対策法、周囲の見守りの大切さを描きます。高齢者の方々だけでなく、そのご家族や周囲の方々にも見ていただきたい作品です。

上映時間30分 字幕版付き

DVD 本体価格 66,000円(税抜)
[C#3511]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座 3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

内容

オープニング

落語家の林家木久扇・木久蔵の親子師匠が登場。「お年寄りを狙った犯罪が多いみたいなんですけど…」と心配する木久蔵師匠に、「私は絶対大丈夫」と自信満々の木久扇師匠。でも、自分は絶対大丈夫と言う人に限って、コロっと騙されてしまいます。再現ドラマを見ながら、その手口と対策を考えていきましょう。



よくある手口その1 『オレオレ詐欺』

嘉子さん宅に、警察を名乗った人物から「息子さんが痴漢行為を働いた」との電話がかかってきました。息子を名乗る男、被害者の弁護士を名乗る男が次々と電話口に出て、示談金を要求します。嘉子さんは直ぐに銀行で現金をおろし、弁護士の助手を名乗ってやって来た人物に、直接現金を渡してしまいました。

- 対策**
1. 子どもや孫を名乗る電話で、困った出来事を告げられても、いったん電話を切って本人に確認する。
 2. 公的機関や弁護士などを名乗る電話も鵜呑みにしない。こうした立場の人が、電話一本で性急に支払いを要求することは絶対にない。
 3. 家族同士で電話に出る際の合言葉を決めておく。

よくある手口その2 『買え買え詐欺 -名義貸し型-』

小川さん宅に、不動産会社を名乗る人物から「会員制有料老人ホームのパンフレットが来ていませんか?」との電話がかかってきました。購入する気がない小川さんですが、「名義だけでもお借りできないか」と頼まれます。人助けと思って名義を貸した小川さん。しばらくして、老人ホームの会社を名乗る人物から、「名義貸しは犯罪。穏便に処理するためには現金が必要だ」との電話がはいります。現金を送った小川さんですが、その直後から業者と連絡が取れなくなり、騙されたことに気づきます。しかも追い討ちをかけるように、別の会社を名乗る電話がかかってきます。

- 対策**
1. 「あなたにしか買えない」「絶対もうかる」…そんな甘い言葉を信じない。
 2. レターパックや宅配便で現金を送るように指示する電話は完全に詐欺。絶対に送らない。
 3. 少しでもおかしいと感じたら、家族や消費生活センターに相談する。

よくある手口その3 『点検商法 -悪質訪問販売-』

タマエさん宅に、布団の無料点検をしている業者だという男が訪ねて来ます。「この布団で寝ていると、その内ぜんそくになる」と不安をおおる男。タマエさんは高額の布団を買わされ、その後も業者に言われるまま、次々と商品を購入させられてしまいます。

- 対策**
1. 見知らぬ人を家に入れない。
 2. 不要なものは「契約しません」「いりません」と、はっきりと断る。
 3. 変だと思ったときは、消費者ホットライン「188番」に電話する。

エンディング

複雑で巧妙化している詐欺や悪質商法。高齢者一人の力では被害を防ぎきれないこともあります。家族や周りの人が早めに気づくことが、被害を最小限に食い止めることにつながります。周囲の人たちとの関係を密にしておくことが、何よりも大切なのです。

監修 東京経済大学現代法学部教授 弁護士 村 千鶴子

プロデューサー：光田雅樹 川越英一 制作協力 千葉エデュケーショナル株式会社
監督：吉田和義 企画・制作 東映株式会社 教育映像部
脚本：新巻圭太郎
撮影：松丸武彦